

「なんで裁判員制度に反対なんだ！」



竹崎博允最高裁長官

【大バトル】した箱根の宴会

最高裁長官と司法修習
同期の弁護士が

交を温めようと、全国から約200

人が集まつた。

21期は錚々たる

一人の弁護士の元へ歩み寄つた。

「なんで裁判員制度に反対するのですか？」

面々の集まりとして知られ、但木敬一前検事総長、宮崎誠日弁連会長、そして11月25日に就任した竹崎博允最高裁長官（64）と、法曹

相手は、高山俊吉弁護士（68）。「裁判員制度はいらぬい」（講談社）の著者で、裁判員制度反対の急先鋒的存続である。

7月27日、夏本番を迎えた日曜の昼下がり、神奈川・箱根のホテルで司法修習第21期の同期会が催された。裁判官、検察官、弁護士を目指して机を並べたのは今から4年前のこと。旧

三者のトップを輩出した期である。

長官就任前だった竹崎氏はこの同期会の宴会の席で、

この2人、司法修習生時代は同じクラスで席も隣だったが、裁判員制度を巡つては、真っ向から対立する。



反対の声は根強いが…

高山氏 「現場の裁判官にも、裁判員制度に納得していない人がいる」

竹崎氏 「それは分かっています」

高山氏 「弁護士の多くも懸念を持っていることを考慮すべきではないか」

竹崎氏 「弁護士会もいろいろな人がいますからね」

出席者によれば、和やかな場ではあつたものの、はたから見れば裁判員制度を巡る「大バトル」とも取れたところ。真相を確かめるべく、件の高山氏を直撃すると、「プライベートな会の話なので詳しくお答えできませんが、竹崎さんが裁判員制度に反対する私たちのことを気にしていたのは確かによう」

「竹崎氏は裁判官と言うよりは、政治家と言つたほうがいいかもしれません。世の中の気を見て物事を判断するタイプです。裁判官時代の88年には米国に渡つて陪審制度を研究し、最高裁判員制度を見越して、異例の長官を飛び越えて、異例の長官大抜擢となつた。冒頭のやり取りに戻ろう。

最高裁関係者が言う。

「竹崎氏は裁判官と言うよりは、政治家と言つたほうがいいかもしれません。世の中の気を見て物事を判断するタイプです。裁判官時代の88年には米国に渡つて陪審制度を研究し、最高裁判員制度を見越して、異例の長官を飛び越えて、異例の長官大抜擢となつた。冒頭のやり取りに戻ろう。

高山氏 「それは分かっています」

竹崎氏 「弁護士の多くも懸念を持っていることを考慮すべきではないか」

竹崎氏 「弁護士会もいろいろな人がいますからね」

出席者によれば、和やかな場ではあつたものの、はたから見れば裁判員制度を巡る「大バトル」とも取れたところ。真相を確かめるべく、件の高山氏を直撃すると、「プライベートな会の話なので詳しくお答えできませんが、竹崎さんが裁判員制度に反対する私たちのことを気にしていたのは確かによう」

そんな竹崎氏の冬のボーナス支給額は、国家公務員の中で最高の595万円。麻生太郎首相は9月就任のため、在職期間率が30%で計算されて国会議員の手当と合わせて410万円。首

高山氏 「それは分かっています」

竹崎氏 「弁護士の多くも懸念を持っていることを考慮すべきではないか」

竹崎氏 「弁護士会もいろいろな人がいますからね」

出席者によれば、和やかな場ではあつたものの、はたから見れば裁判員制度を巡る「大バトル」とも取れたところ。真相を確かめるべく、件の高山氏を直撃すると、「プライベートな会の話なので詳しくお答えできませんが、竹崎さんが裁判員制度に反対する私たちのことを気にしていたのは確かによう」

そんな竹崎氏の冬のボーナス支給額は、国家公務員の中で最高の595万円。麻生太郎首相は9月就任のため、在職期間率が30%で計算されて国会議員の手当と合わせて410万円。首

高山氏 「それは分かっています」

竹崎氏 「弁護士の多くも懸念を持っていることを考慮すべきではないか」

竹崎氏 「弁護士会もいろいろな人がいますからね」

出席者によれば、和やかな場ではあつたものの、はたから見れば裁判員制度を巡る「大バトル」とも取れたところ。真相を確かめるべく、件の高山氏を直撃すると、「プライベートな会の話なので詳しくお答えできませんが、竹崎さんが裁判員制度に反対する私たちのことを気にしていたのは確かによう」

高山氏 「それは分かっています」

竹崎氏 「弁護士の多くも懸念を持っていることを考慮すべきではないか」

竹崎氏 「弁護士会もいろいろな人がいますからね」

出席者によれば、和やかな場ではあつたものの、はたから見れば裁判員制度を巡る「大バトル」とも取れたところ。真相を確かめるべく、件の高山氏を直撃すると、「プライベートな会の話なので詳しくお答えできませんが、竹崎さんが裁判員制度に反対する私たちのことを気にしていたのは確かによう」

高山氏 「それは分かっています」

竹崎氏 「弁護士の多くも懸念を持っていることを考慮すべきではないか」

竹崎氏 「弁護士会もいろいろな人がいますからね」

出席者によれば、和やかな場ではあつたものの、はたから見れば裁判員制度を巡る「大バトル」とも取れたところ。真相を確かめるべく、件の高山氏を直撃すると、「プライベートな会の話なので詳しくお答えできませんが、竹崎さんが裁判員制度に反対する私たちのことを気にしていたのは確かによう」

高山氏 「それは分かっています」

竹崎氏 「弁護士の多くも懸念を持っていることを考慮すべきではないか」

竹崎氏 「弁護士会もいろいろな人がいますからね」

出席者によれば、和やかな場ではあつたものの、はたから見れば裁判員制度を巡る「大バトル」とも取れたところ。真相を確かめるべく、件の高山氏を直撃すると、「プライベートな会の話なので詳しくお答えできませんが、竹崎さんが裁判員制度に反対する私たちのことを気にしていたのは確かによう」